

であり、早い時期に計画のとりにとめを行うというところであったが、その後何ら説明がない。市民に説明、報告をする責任があると思うがどうか。平成19年度から一般競争入札を導入するということが、具体的な内容、方法はどのようにするのか。談合等の不正な入札の排除、防止のために、損害賠償を求める損害賠償予約条項の契約約款への明記はできないか。

**答** 救急医療施設の整備は最重要課題であり、早急な取り組みをしていかなければならない。次号の広報そうじゃ「市長室から」のページで説明あるいはお願いさせていただく。入札制度については、岡山県において来年度から1千万円以上の工事について、段階的に一般競争入札を導入する。総社市としても段階的に導入してまいりたい。談合に対する損害賠償予約条項であるが、きちんと対応するように指示してまいりたい。(市長)

県立博物館誘致について

**問** 県立博物館誘致活動もこれからがある面、正念場であると思うが、現在の誘致活動の現状と今後の運動方針はどのように考えているのか。

**答** 県立博物館誘致については、「県立博物館を吉備路へ」を合い言葉に、官民力を合わせた取り組みを行ってきた。全国に向けて吉備文化を発信するため、吉備の中心である総社圏域が最もふさわしく、今後具体的な動きがあれば真つ先に手を上げていけるよう、市民意識の高揚、誘致に向けた事業を進めてまいりたい。誘致実現に向けて効果的な要望



空から見た国民宿舎サンロード吉備路と作山古墳

活動も行ってまいりたい。(市長)

このほか、人事管理について質問しています。

剣持 堅 吾

救急医療と施設の内容について

**問** 市民医療の充実は、今から32年前市民から総合病院の設置を求める切実な要求が出発点となっ

ている。しかし、市政はいまだにこの要求にまったくこたえていない。最近の市外医療機関への搬送は実に64%であり、紛れもなく高度医療の充実した施設を求めている。こうした実情をどう考えるか。

**答** 早い時期に計画を取りまとめ、現実的の1ステップを推進するよう願うが、市長の見解や決意はどうか。

**問** 市民の要望に対し現在十分にとたえられないのが現状である。より高度な医療を考えると、市内だけでは難しい現状であるが、近隣の総合病院との連携強化を図るとともに、総社市の救急医療施設及び救急医療体制の強化、充実が急務である。今後の考え方としては、何者にもとらわれず、多くの皆様方の意見を拝聴し、広く協議を進め、早い時期に計画のとりまとめを行いたい。(市長)

赤澤 康 宏

吉備路マラソンについて

**問** 吉備路マラソンは、予算、交通規制等の問題で中止になったと聞いたが、現在は吉備路アリーナ付近も整備され、もし大会が再スタートできることなら、経済効果も十分期待できるし、市内の名所を巡

るなどのコース等も考え直して、吉備路マラソンをスタートしてはどうか。

**答** 吉備路マラソンは、回を重ねるごとに参加者も多くなり、全国各地より参加された皆さんは吉備路のコースを大変喜ばれていた。しかし、周辺の交通事情も大きく変わり、交通規制にも無理が生じてきたことと、参加者増大により安全確保が困難であることから、やむなく中止となった。今後は、当面市民団主体主催のマラソンを支援してまいりたい。(教育長)

総合型地域スポーツクラブについて

**問** 平成17年10月の定例会で総合型地域スポーツクラブ設立、支援について、質問をさせていただいたが、あれから1年を過ぎどのような進展があるか。

**答** 現在きよねスポーツクラブが設立されているが、このきよねスポーツクラブについては、今後地域と密着したクラブとして支援してまいりたい。



市民団主体主催のそうじゃ温羅じゃマラソン

**答** 教育施設については耐震改修等に備え、平成19年度から新たに教育施設整備事業基金を設置し積み

丹下 茂

公共施設の安全管理について

**問** 公共施設は多くの市民が利用される施設であり、中でも学校施設については、地震等の非常時に児童・生徒の生命を守ることも、地域住民の緊急避難場所としての役割を果たすことから、その安全性の確保が不可欠である。

農業問題について

**問** 有機農業により生産される農産物、流通、消費のそれぞれの側面から有機農業を促進するための施策を総合的に講じることが基本とした法律が施行されたが、総社市においてはどのような対策を講じているのか。

**答** 有機農業法は、化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないで、環境への負荷をできる限り低減した農業生産方法であり、有機農業とされているところである。本市としても、独自の推進を大いに図って

根馬 和子

教育行政について

**問** 昨年6月議会での、子どもたちの安全・安心を守るために通学区域の見直しを求めたときの答弁では、総社市通学区域設定審議会を立ち上げ、地元の要望等を聞き、通学区域の弾力化についての審議、検討していただくということだったが、その後の進捗状況はどうか。

**答** 昨年7月に総社市通学区域設定審議会を立ち上げ、通学区域の適正化及び通学区域の弾力化に